施工説明書

工事店様・お客様へのお願い

本書は移設時など今後必要になる可能性がありますので、お客様にて大切に保管ください。

TOTO

アルカリ7据置タイプ

TEK513型
TEK513－1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

＜TEK513型、TEK513－1型 共通＞

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止	**指定する電源（AC100V）以外では使用しない** 火災の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない **傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない** 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 火災や感電の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	水をかけない 電気製品ですので、火災や感電の原因になります。

⚠ 警　告

禁　止	**火のついたローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない** 火災や変形のおそれがあります。
	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 火災や感電の原因になります。 ※アルカリ7は薬機法(旧薬事法)の対象機器です。修理・改造は罰則対象になります。
接触禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
必ず実行	**電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く** コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

⚠ 注　意

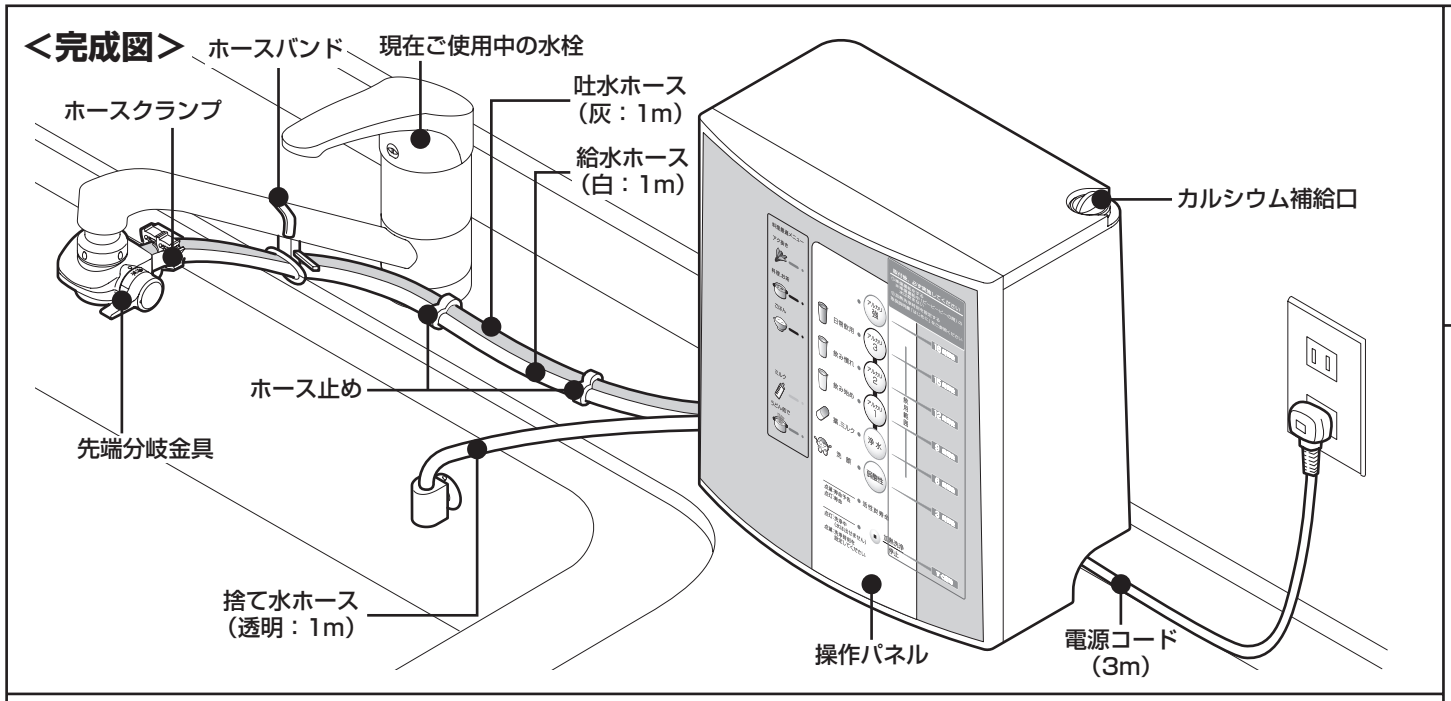
禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	湯側には接続しない アルカリ7は水専用です。故障や水漏れの原因になります。
	凍結が予想される場所では使用しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。

TEK513 ➡ 2 へ進む

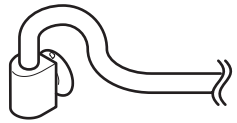
TEK513－1 ➡ 裏面の 2 へ進む

2 部品の確認

※梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
※開梱後、下記部材が入っていることを必ず最初に確認してください。

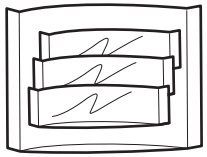


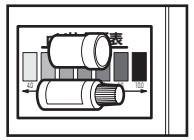
本体取付用


捨て水ホース

ホースクランプ
（捨て水ホース用）

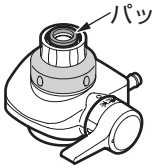
消耗品


グリセロリン酸カルシウム
（4g入×3袋包）

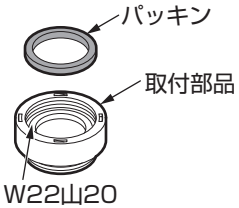

pH測定液セット

蛇口取付用

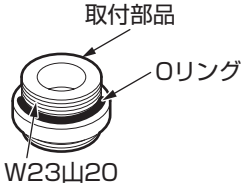
先端分岐金具



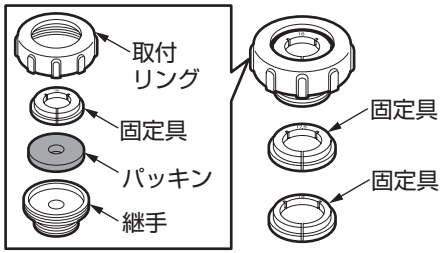
取付部品A



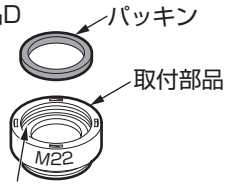
取付部品B



取付部品C

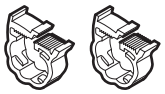


取付部品D

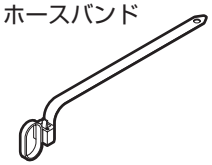


ホース止め

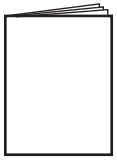
ホースクランプ
（先端分岐金具側）



ホースバンド



その他


取扱説明書

施工説明書
（本書）

メニューシール

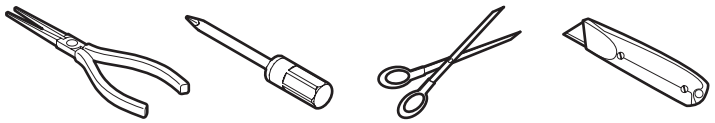
保証書

日付ラベル

3-1 取付手順

用意するもの

※設置位置により使用しない場合があります。



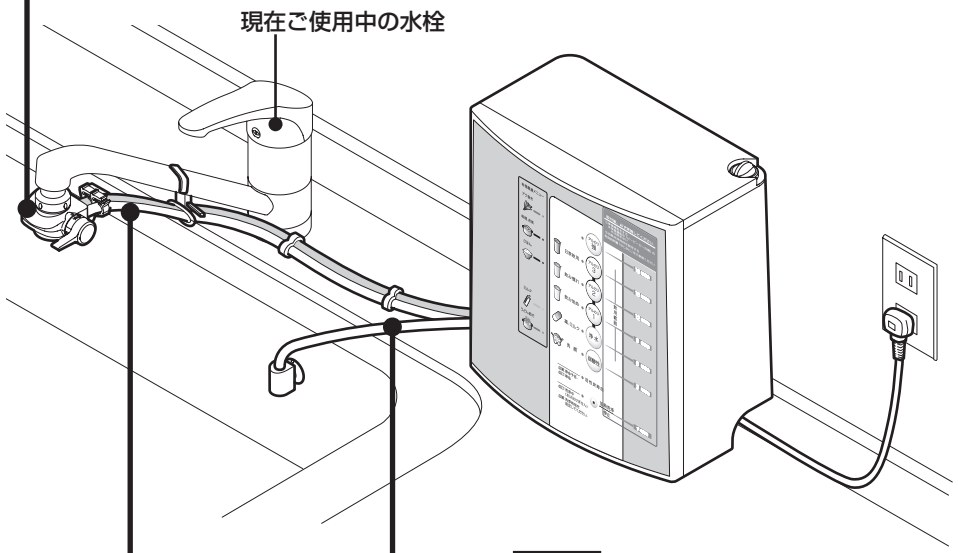
ペンチ　プラスドライバー　はさみ（ホースバンド切断用）　カッター（ホース切断用）

1 先端分岐金具の取り付け

現在使用中の水栓に先端分岐金具を取り付けます。

2 設置位置

アルカリ7の設置位置を決めて、必要ならばゴム足、捨て水ホースの方向を変えます。



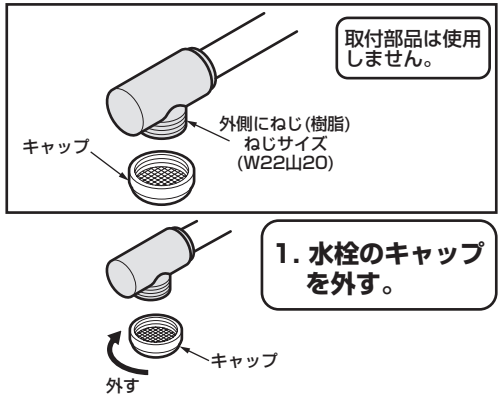
3 捨て水ホースの取り付け

4 給水・吐水ホースの取り付け

給水・吐水ホースを取り付けます。

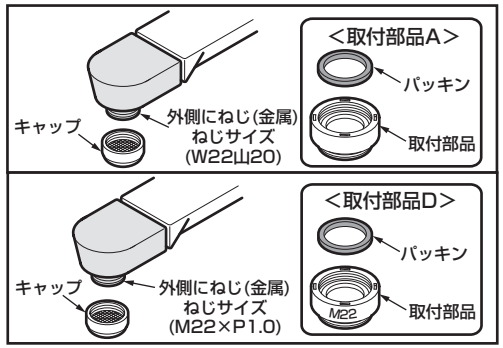
1-1 取付部材の選択（ご家庭の水栓を確認ください）

(1) ねじが樹脂で外ねじの水栓の場合

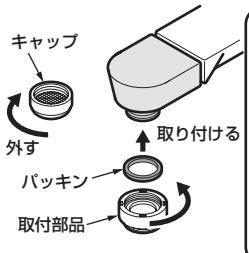


1. 水栓のキャップを外す。

(2) ねじが金属で外ねじの水栓の場合

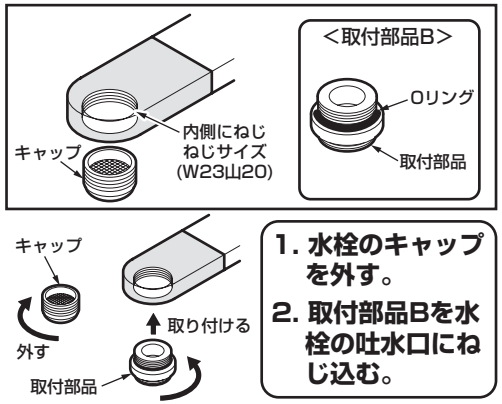


※ねじのサイズがわからないときは、パッキンを外し、取付部品A・Dの両方を水栓に取り付けてみて軽く回せる方を選んでください。取付時はパッキンを元に戻してください。



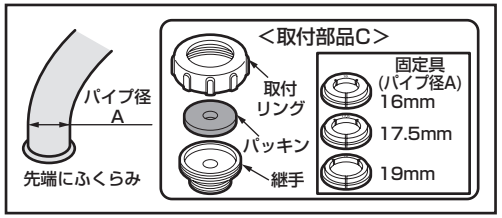
1. 水栓のキャップを外す。
2. 取付部品Aまたは取付部品Dを水栓の吐水口にねじ込む。

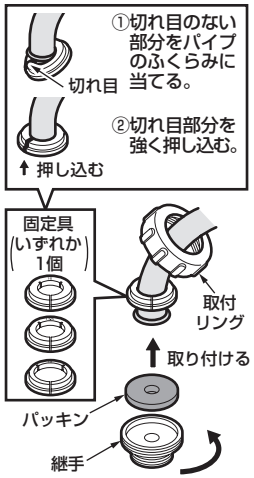
(3) 内ねじの水栓の場合



1. 水栓のキャップを外す。
2. 取付部品Bを水栓の吐水口にねじ込む。

(4) ねじがない先端にふくらみのある丸パイプ水栓の場合





1. パイプの外径寸法を測り、固定具を選ぶ。

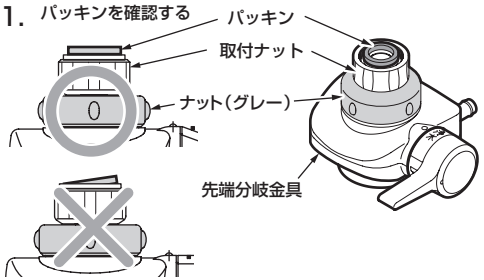
※P.8の「パイプ径測定用紙」を切り取ってご利用ください。

2. スパウトに取付リング・固定具の順に通し、パッキン・継手を取り付ける。

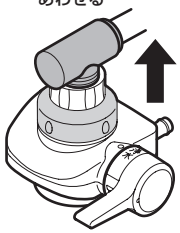
※左図のように固定具の向きに注意してください。

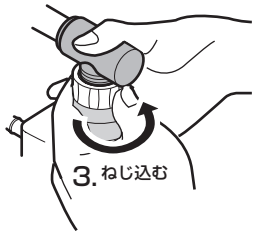
1-2 先端分岐金具の取り付け

1. パッキンを確認する



2. パッキンを吐水口にあわせる





1. 取付ナットを、ナット（グレー）の方へ押し下げて、パッキンが取付ナットに対して水平になっている事を確認する。

水平でないときは、パッキンを抜き取り、パッキンの方向に注意して取付ナットに真っすぐ差し込んでください。

2. パッキンを水栓の吐水口部に差し込む。

パッキンが吐水口部にはまらない場合は、パッキンを取り付け直してください。

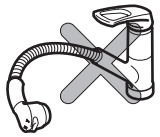
3. 水栓と先端分岐金具を挟み込むように片手で保持して、取付ナットを水栓の吐水口部に真っすぐねじ込む。

※取り付けは工具を使用せずに手で締めてください。
※パッキンの入れ忘れに注意してください。
※先端分岐金具は、ねじ山やパッキンの変形に注意して、水平に取り付けてください。
※水栓によってはねじ山が余る場合があります。

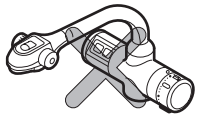
取り付けできない水栓

●先端部が10mm以下

●シャワーノズル付き



●センサー付き



TOTO製のセンサータイプ(TEK34UPA型)は取付可能です。

●特殊なねじの寸法

●変形・先端の構造が特殊

※上記のほかにも、TKN型や変形水栓、ねじ径(22mm以外)やパイプ径の違うものがあり、取り付けできない場合もありますのでご注意ください。
(TKF51型･TKC型には取り付けできません)

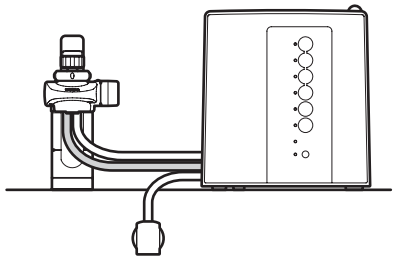
お知らせ

●ねじ径の違う水栓については、別売りのアダプターを使用することで取り付けられる場合があります。
●先端部にふくらみのない水栓の場合、別売りのTHD2をご用意ください。

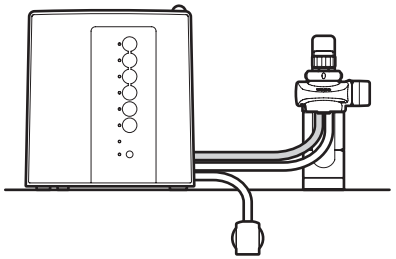
詳しくはP.8の「別売品(先端分岐金具取付用部品)」をご覧ください。

2 設置位置

水栓の**右側に**アルカリ7を設置する場合

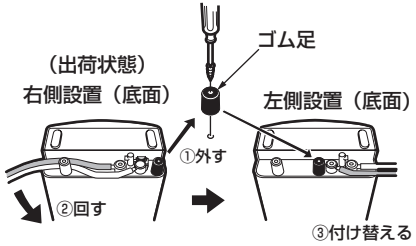


水栓の**左側に**アルカリ7を設置する場合



アルカリ7本体底部のゴム足（灰色）の位置を替える

①ドライバーを使用し、ゴム足を外す。
②ホース2本を底から見て、反時計回りに回す。
③ゴム足を付け替える。



⚠注意

●加熱洗浄中は捨て水ホースの底から蒸気や熱湯が出るため捨て水ホースが熱くなります。熱で変形するおそれのあるビニールやプラスチックなどには触れない場所に取り付けてください。

●本体が水平になるように設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になることがあります。

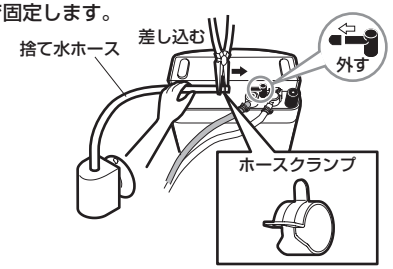
●本体の故障を防ぐため、酸性やアルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤や食用油などが本体に付着する場所への設置はしないでください。

3 捨て水ホースの取り付け

1 捨て水ホースの取り付け

アルカリ7に捨て水ホースを取り付ける

アルカリ7本体底部の黒い継手のキャップを取り外し、ホースにクランプを通してから付属の捨て水ホースをつないで、付属のホースクランプ（捨て水ホース用）で固定します。



※捨て水ホースが長い場合には、アルカリ7に差し込む方を切ってください。

※加熱洗浄中は捨て水ホースの底から蒸気や熱湯が排出されますので、捨て水ホースは必ずアルカリ7から近いシンク内に固定してください。

※捨て水ホースはシンク奥のお子さまの手の届きにくいところに取り付けてください。

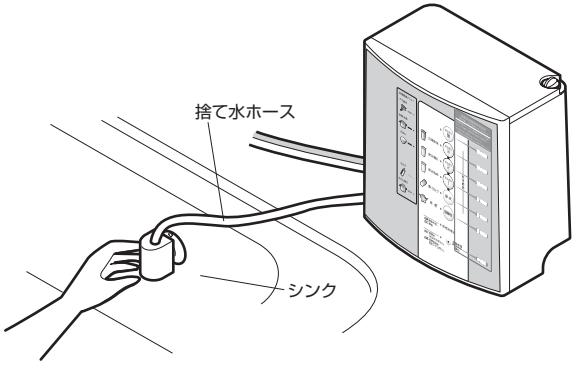
※捨て水ホースの吸盤を取り付けるシンク面は、あらかじめ汚れを落としておいてください。

※吸盤に少量の水をつけて固定すると吸着しやすくなります。

2 捨て水ホースの固定

アルカリ7を設置する場所に置き、捨て水ホースをシンク内に固定する

捨て水ホースはアルカリ7から近いシンク内に固定します。必ずシンク内（平面部）に設置してください。

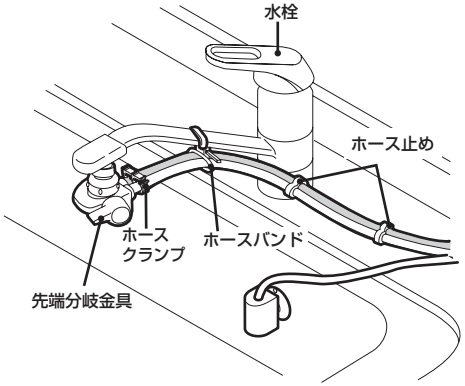


⚠ 注意

禁止

- ●捨て水ホースの先端部品は絶対に外さないでください。
- ●捨て水ホースのラベルははがさないでください。
- ●捨て水ホースの先端は水につけないでください。一度吐水した水が本体に入る場合があります。

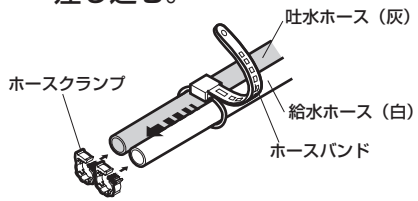
4 給水・吐水ホースの取り付け



このページで使用する部品

1 ホースバンドに給水ホース・吐水ホースを通す。

2 給水ホース・吐水ホースにホースクランプを各１個ずつ差し込む。



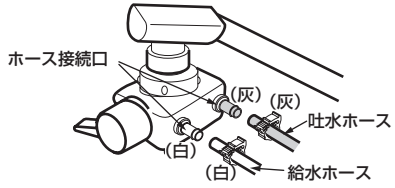
⚠ 注意

- ●ホースは折れ曲がりやねじれがないように設置してください。
- ●ホースを切断するときはスパウトを回して充分な長さを確保してから切断してください。

3 先端分岐のホース接続口に、給水ホース･吐水ホースを差し込む。

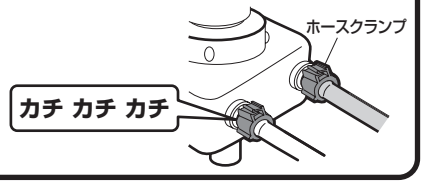
※白・灰色ホースが長い場合は２本そろえてカッターなどで切ってください。

※ホース接続口とホースの色をあわせて差し込んでください。



4 ホースクランプでホースを止める。

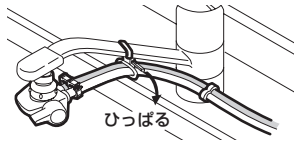
ホースクランプはホース接続口とホースの上をきちんと押さえるように締め付けてください。（カチカチカチと3回鳴るくらいが目安です。）



5 給水ホース・吐水ホースをホース止めで束ねる。

6 ホースバンドを固定する。

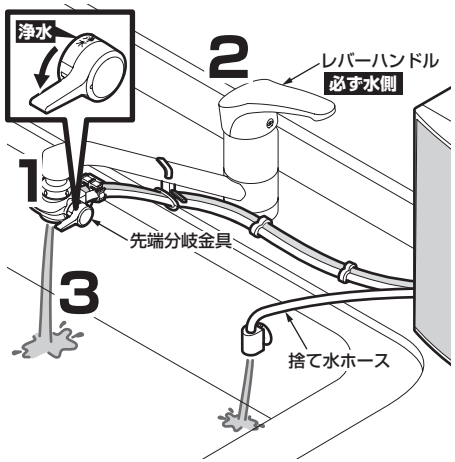
※長い場合は､はさみなどで切ってください。



4-1 準備運転・加熱洗浄時刻の設定

1 準備運転をする 最初に下記の準備を行います。

※電源プラグがコンセントに差し込んであるか確認してください。



1 『浄水』に 切り替える。

"カチッ"と音がするまで回してください。

2 レバーハンドルを開く。

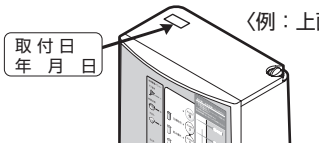
●アルカリ3が点滅します。
●"ピーピーピー"・・・と鳴り続け、捨て水ホースから水が出ます。（約1分間鳴り続けます）
※準備運転中に接続した各部からの水漏れがないか確認してください。

3 先端分岐金具から水が出始め、"ピーピーピー"音が止まったら、水を止める。

～準備運転完了～

4 取付日を記入したラベルを貼る。

日付ラベルに取付年月日を記入し、見やすい場所に貼ってください。取付日を確認するときに便利です。

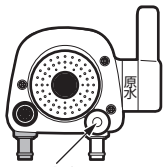


〈例：上面への貼付〉

安全弁について

水圧が高い場合、本体保護のため安全弁から水が出ることがあります。

水栓に止水栓がついている場合は、止水栓で安全弁から水が出ないように流量を調節してご使用ください。
水栓に止水栓がついていない場合は、水栓の開閉ハンドルで安全弁から水が出ないように流量を調節してご使用ください。



お知らせ
●本体故障の原因となりますので、35℃を超える温水は流さないでください。
●電源投入時と加熱洗浄後に初めて水を出す場合は、自動的に準備運転になります。

⚠注意
●準備運転中の水は飲用しないでください。

2 加熱洗浄時刻を設定する

お知らせ
●加熱洗浄中はアルカリ7を使用することができないため、夜中などアルカリ7を使用しない時間帯での設定をおすすめします。（加熱洗浄時間の目安：約1.5～3時間）
●一度設定すれば、次の日からは毎日同じ時刻に加熱洗浄が始まります。

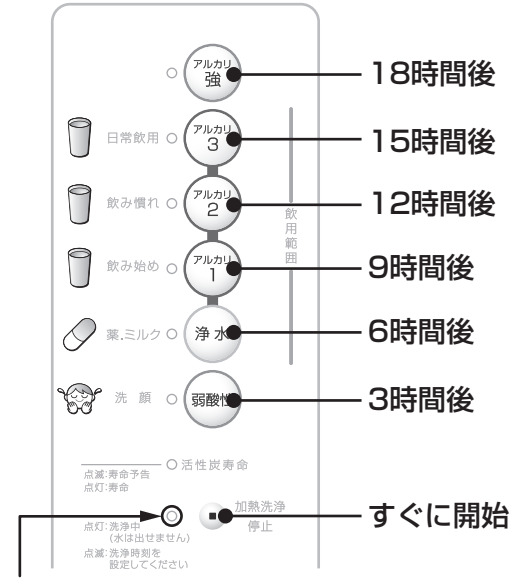
1 ピッ 加熱洗浄 停止 を2秒間押す。

点滅

"ピッ"と音が鳴り加熱洗浄設定モードに入ります。

2 60秒以内に設定したい時刻のボタンを押す。

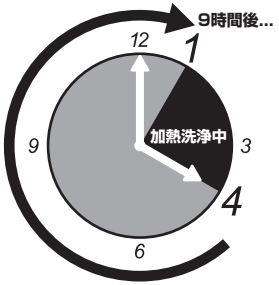
"ピー"と音が鳴り、ランプが点滅します。



消灯すれば、設定完了。

例えば・・・

現在は **PM4:00** 。
AM1:00 から始めたいなら
9時間後に設定。



加熱洗浄時刻を変更したいとき

●加熱洗浄中でない場合・・・「4-1－2」の**1→2**を実施してください。

●加熱洗浄中の場合・・・・・ 加熱洗浄停止 を押し、加熱洗浄ランプが消えてから「4-1－2」の**1→2**を実施してください。

加熱洗浄中にアルカリ7を使いたいとき（加熱洗浄をやめたいとき）

加熱洗浄停止 を押してください。

ランプが消え、加熱洗浄が停止されるため、アルカリ7が使えるようになります。

・活性炭の性能を持続させるために、できるだけ加熱洗浄を停止しないでください。

・次の加熱洗浄は、翌日の設定時刻から開始されます。

・加熱洗浄停止後すぐの通水は、捨て水ホースから熱湯が出る場合がありますので、注意してください。

加熱洗浄ランプが点滅していたら…

・加熱洗浄時刻が未設定です。

・このときアルカリ7に水を流すと「ピッピッピ」と音がします。

・設定しないまま使用すると、アルカリ7の性能が十分に発揮されません。

加熱洗浄開始時刻の設定を 4-1－2 の手順でしてください！

※停電や電源プラグを抜くなどで長時間電源を切った場合もこのような状態になります。

加熱洗浄が始まらなかったら…

前回の加熱洗浄終了（中断）後、アルカリ7へのご使用量が500mL程度もしくは通水がない場合は設定時刻になっても加熱洗浄は行いません。
アルカリ7を使用した日は設定した時刻に開始されます。

加熱洗浄開始時刻の確認

1 ピッ 加熱洗浄停止 **を2秒間押す。**

点滅

“ピッ”と音が鳴り加熱洗浄設定モードに入ります。

2 **加熱洗浄までに近い時間のランプが点滅する。**

そのままにしておくと、いずれかのランプが点灯します。

点灯するランプ	加熱洗浄が開始される時間
○ アルカリ 強	15時間～24時間未満
○ アルカリ 3	12時間～15時間未満
○ アルカリ 2	9時間～12時間未満
○ アルカリ 1	6時間～9時間未満
○ 浄水	3時間～6時間未満
○ 弱酸性	0時間～3時間未満

そのまま1分間待つか、水を流すと通常モードに戻ります。

5 別売品

別売品 ※仕様･品番･希望小売価格は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

＜先端分岐金具取付用部品＞

ねじ径の違う水栓については、別売りの先端分岐金具取付用部品を使用することで取り付けられる場合があります。

(2015.12現在)

形状	先端にふくらみのない水栓	外ねじの水栓			内ねじの水栓	
ねじ径	ー	W26×山20	W24×山20	M22×P1.25	M24×P1.0	W24×山20
品番	THD2	THD7-2	THD7-3	THD7-4	THD8-1R	THD8-2
希望小売価格	1,150円(税抜)	2,300円(税抜)	2,300円(税抜)	3,000円(税抜)	1,150円(税抜)	3,000円(税抜)

注意

- ねじの締め忘れによる水漏れやガタツキなど、正しいお取り替えをされなかったことによる不具合は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- この説明書の中にあります、品番や希望小売価格・送料は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＜パイプ径測定用紙＞

色のついた部分を上にしてパイプにあて、巻いてお使いください。パイプの太さが測定できます。

16mm

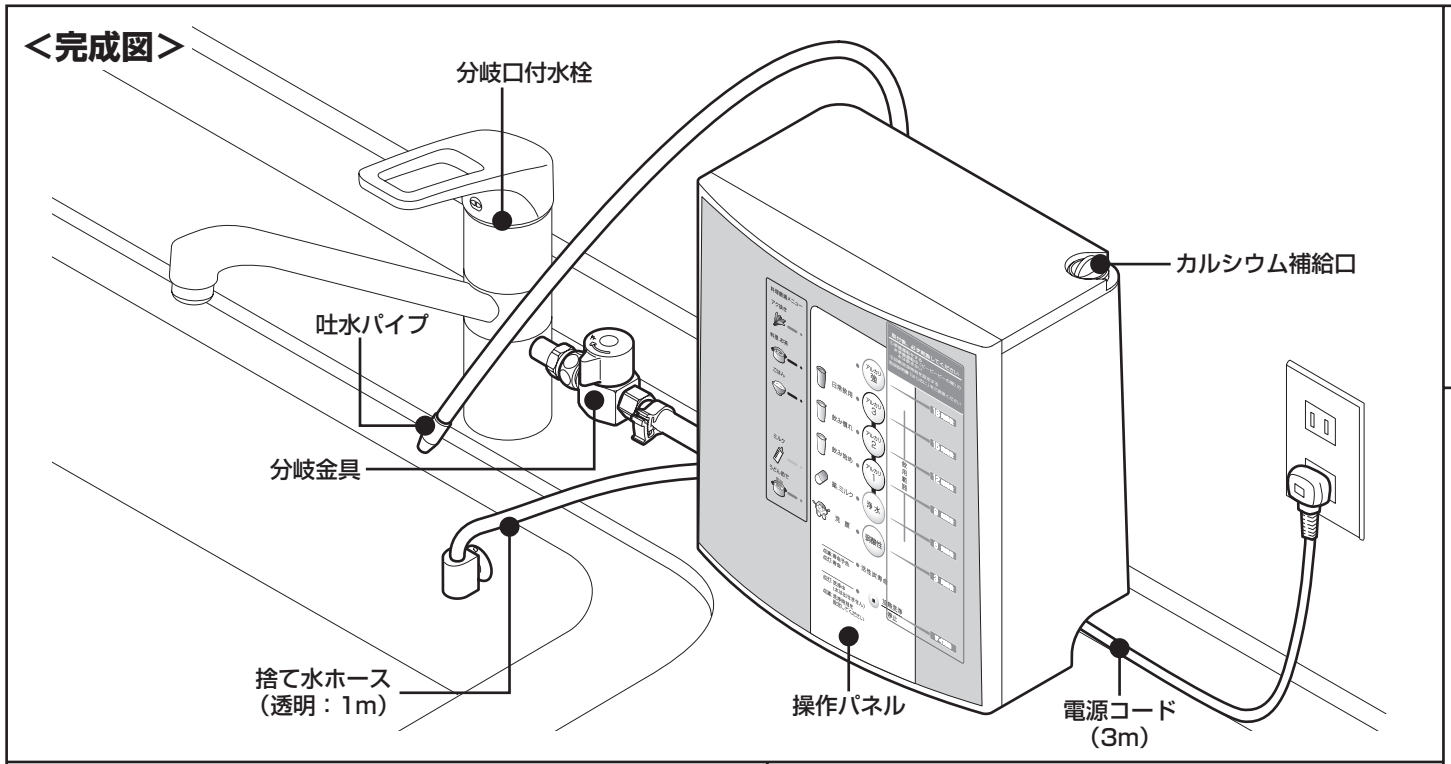
17.5mm

19mm

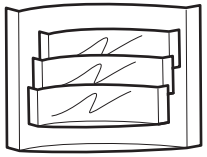
※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。

2 部品の確認

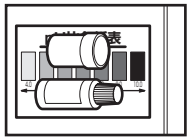
※梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
※開梱後、下記部材が入っていることを必ず最初に確認してください。



消耗品



グリセロリン酸カルシウム
（4g入×3袋包）

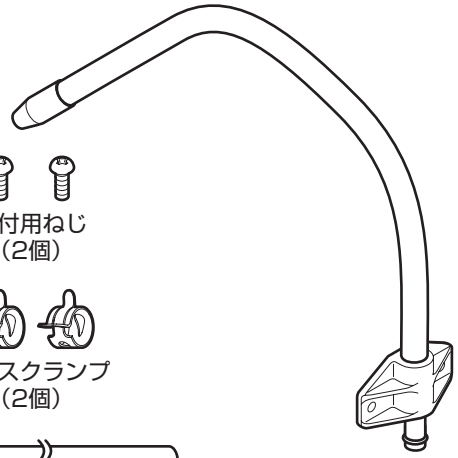


pH測定液セット

本体取付用

捨て水ホース

ホースクランプ
（捨て水ホース用）



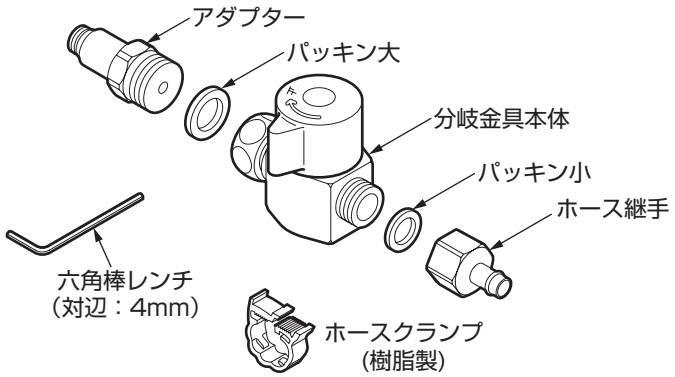
取付用ねじ
（2個）

ホースクランプ
（2個）

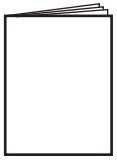
吐水ホース

吐水パイプ

分岐金具

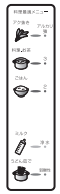


その他



取扱説明書

施工説明書
（本書）



メニューシール

保証書

日付ラベル

3-1 取付手順

用意するもの

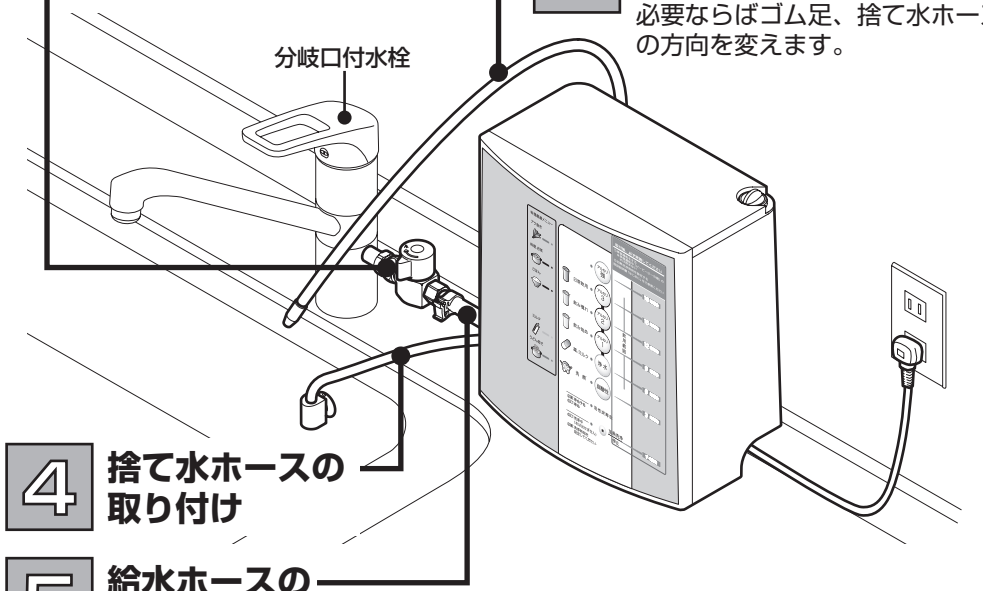
※設置位置により使用しない場合があります。

1 分岐金具の取り付け

2 吐水パイプの取り付け

3 設置位置

アルカリ7の設置位置を決めて、必要ならばゴム足、捨て水ホースの方向を変えます。



4 捨て水ホースの取り付け

5 給水ホースの取り付け

1-1 分岐金具の取り付け（本体を水栓の右側に設置する場合）

1 元栓を閉める

重要

止水栓または配管部の元栓を閉める。

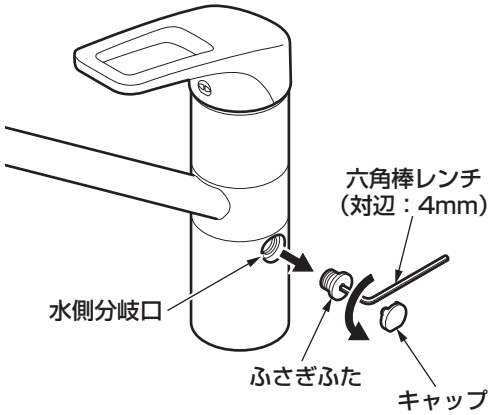
2 ふさぎふたの取り外し

①精密ドライバーまたは先端の細いマイナスドライバーなどで水栓の水側分岐口（右側面）のキャップを外す。

②ふさぎふたを六角棒レンチ(対辺：4mm)で取り外す。

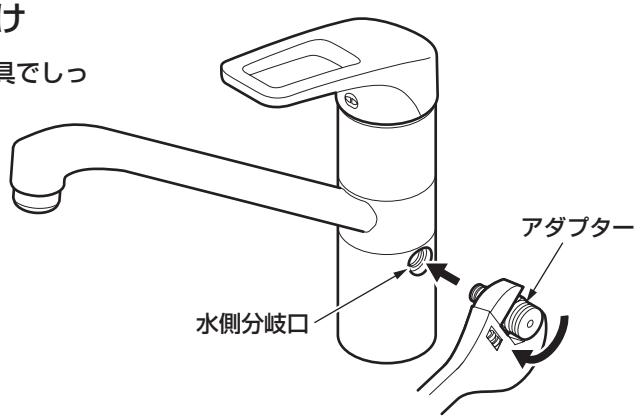
注　意

向かって右側が水側分岐口です。
左側は湯側分岐口ですので接続しないでください。



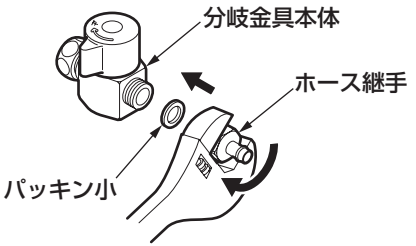
3 アダプターの取り付け

水側分岐口にアダプターを工具でしっかり取り付ける。



4 ホース継手の取り付け

分岐金具本体にホース継手を工具でしっかり取り付ける。



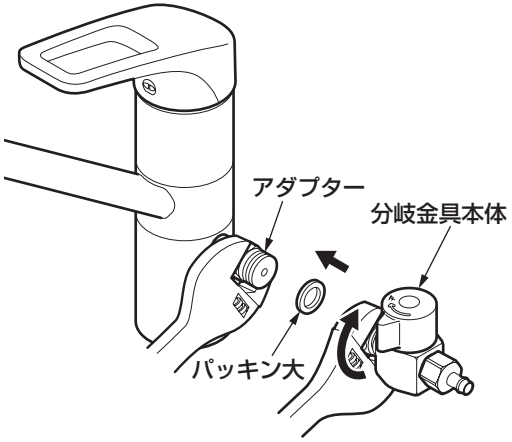
5 分岐金具本体の取り付け

アダプターを固定して、分岐金具本体を工具でしっかり取り付ける。

注　意

- **取り外したキャップとふさぎふたおよび六角棒レンチは大切に保管してください。**
- **めっき表面を傷つけないように注意してください。**
- **アダプターの六角面を工具で固定し、アダプターが回らないようにして取り付けてください。**

アダプターが回ると、接続部が破損し、水漏れのおそれがあります。



1-2 分岐金具の取り付け（本体を水栓の左側に設置する場合）

1 元栓を閉める

重要

止水栓または配管部の元栓を閉める。

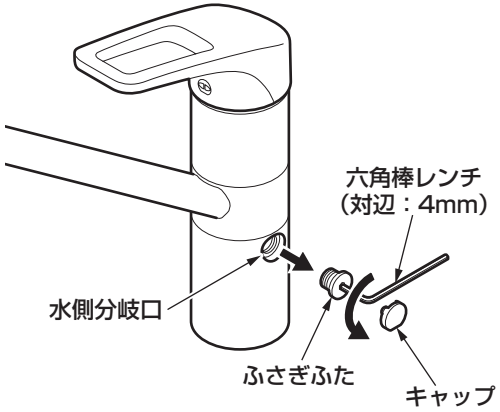
2 ふさぎふたの取り外し

①精密ドライバーまたは先端の細いマイナスドライバーなどで水栓の水側分岐口（右側面）のキャップを外す。

②ふさぎふたを六角棒レンチ(対辺：4mm)で取り外す。

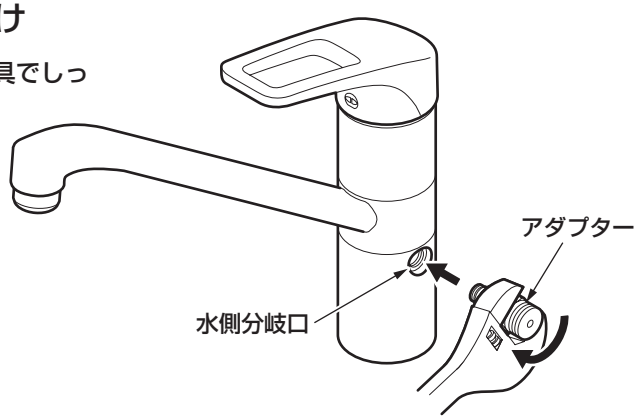
注　意

向かって右側が水側分岐口です。
左側は湯側分岐口ですので接続しないでください。



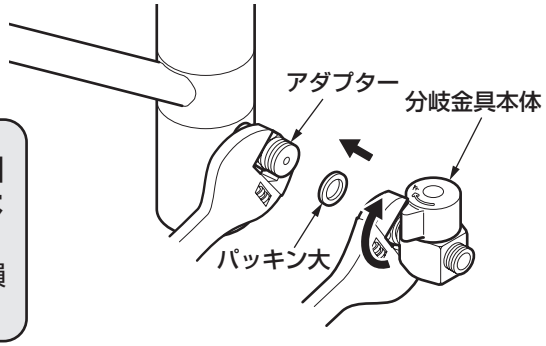
3 アダプターの取り付け

水側分岐口にアダプターを工具でしっかり取り付ける。



4 分岐金具本体の取り付け

アダプターを固定して、分岐金具本体を工具でしっかり取り付ける。



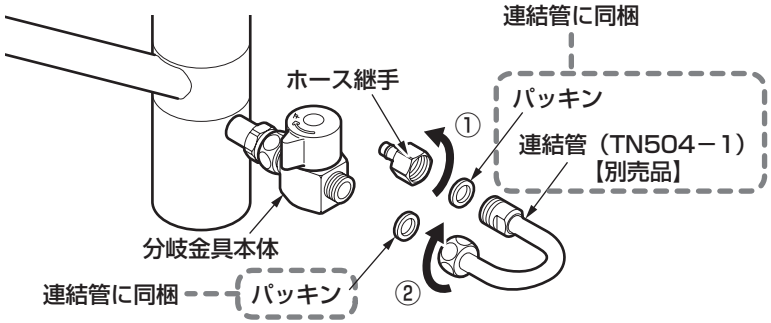
注　意

アダプターの六角面を工具で固定し、アダプターが回らないようにして取り付けてください。
アダプターが回ると、接続部が破損し、水漏れのおそれがあります。

5 連結管の取り付け

①連結管にホース継手を工具でしっかり取り付ける。

②分岐金具本体に連結管を工具でしっかり取り付ける。



注　意

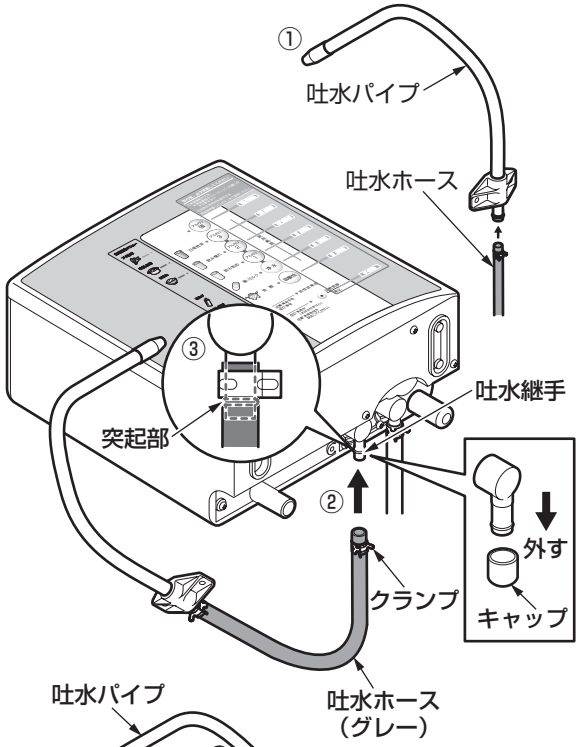
●連結管に同梱のパッキンを使用してください。
●取り外したキャップとふさぎふたおよび六角棒レンチは大切に保管してください。
●めっき表面を傷つけないように注意してください。

2 吐水パイプの取り付け

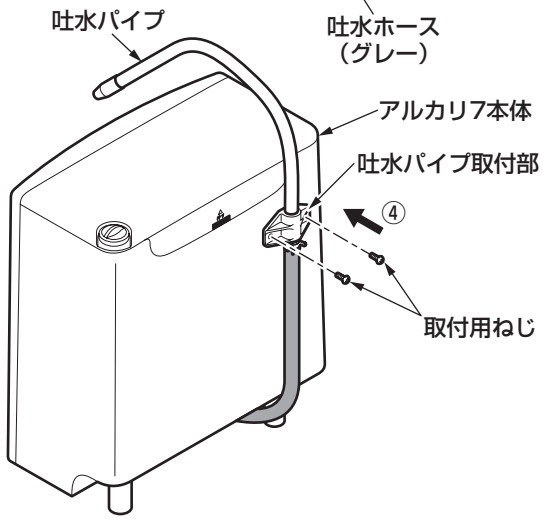
①吐水ホースにクランプを通し、吐水パイプに吐水ホースを差し込みクランプで止める。

②吐水ホースにクランプを通し、アルカリ7本体底面の吐水継手のキャップを取り外し吐水ホースを吐水継手に差し込む。

③クランプを継手の突起部の上で、本体のねじが当らない位置で止める。

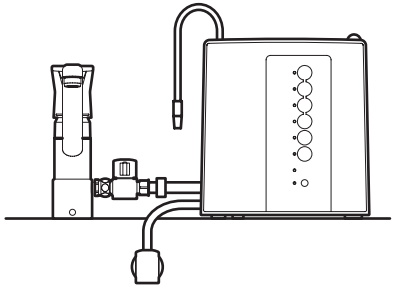


④吐水パイプ取付部のセパレート紙をはがし、アルカリ7本体背面に取付用ねじ（2個）で固定する。

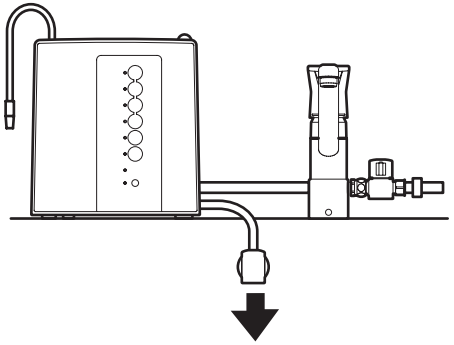


3 設置位置

水栓の**右側に**アルカリ7を設置する場合



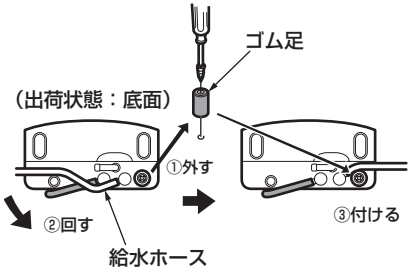
水栓の**左側に**アルカリ7を設置する場合



①ドライバーを使用し、ゴム足を外す。

②給水ホース（白色）を底から見て、反時計回りに回す。

③ゴム足を付ける。



⚠注意

●加熱洗浄中は捨て水ホースの底から蒸気や熱湯が出るため捨て水ホースが熱くなります。熱で変形するおそれのあるビニールやプラスチック等には触れない場所に取り付けてください。

●本体が水平になるように設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になることがあります。

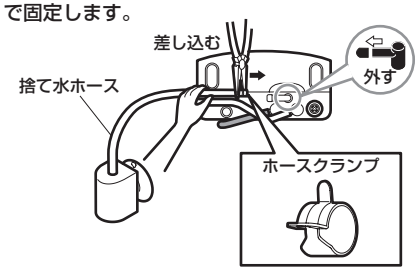
●本体の故障を防ぐため、酸性やアルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤や食用油などが本体に付着する場所への設置はしないでください。

4 捨て水ホースの取り付け

1 捨て水ホースの取り付け

アルカリ7に捨て水ホースを取り付ける

アルカリ7本体底部の黒い継手のキャップを取り外し、ホースにクランプを通してから付属の捨て水ホースをつないで、付属のホースクランプ（捨て水ホース用）で固定します。



※捨て水ホースが長い場合には、アルカリ7に差し込む方を切ってください。

※加熱洗浄中は捨て水ホースの底から蒸気や熱湯が排出されますので、捨て水ホースは必ずアルカリ7から近いシンク内に固定してください。

※捨て水ホースはシンク奥のお子さまの手の届きにくいところに取り付けてください。

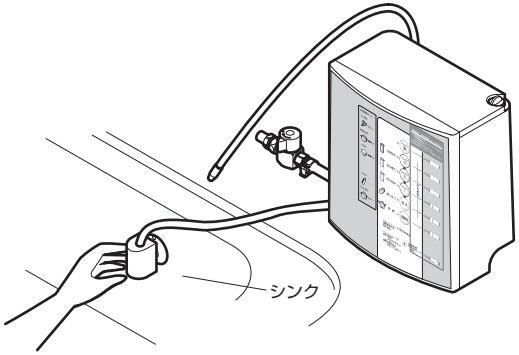
※捨て水ホースの吸盤を取り付けるシンク面は、あらかじめ汚れを落としておいてください。

※吸盤に少量の水をつけて固定すると吸着しやすくなります。

2 捨て水ホースの固定

アルカリ7を設置する場所に置き、捨て水ホースをシンク内に固定する

捨て水ホースはアルカリ7から近いシンク内に固定します。必ずシンク内（平面部）に設置してください。



⚠注意

禁　止

●捨て水ホースは絶対に外さないでください。加熱洗浄の蒸気がかかりやけどをするおそれがあります。

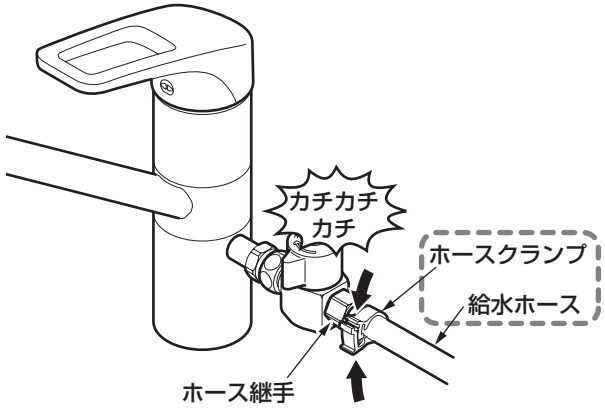
●加熱洗浄中は捨て水ホースにふれないでください。加熱洗浄中は高温となり、やけどをするおそれがあります。

●捨て水ホースは水につけないでください。汚水が本体に入る可能性があります。

3-5

5 給水ホースの取り付け

ホース継手にイオン水生成器の給水ホースを接続し、ホースクランプで固定する。



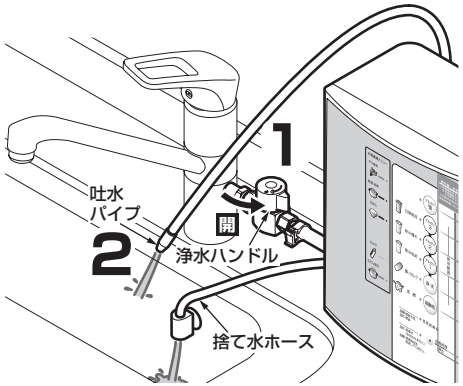
注　意

クランプはホースの抜けを防ぐためのものです。
必ず取り付け、確実に締め付けてください。
（カチカチカチと3回鳴るくらいが目安です）

4-1 準備運転・加熱洗浄時刻の設定

1 準備運転をする 最初に下記の準備を行います。

※電源プラグがコンセントに差し込んであるか確認してください。



1 浄水ハンドルを開く。

- ●アルカリ3が点滅します。
- ●"ピーピーピー"・・・と鳴り続け、捨て水ホースから水が出ます。（約1分間鳴り続けます）

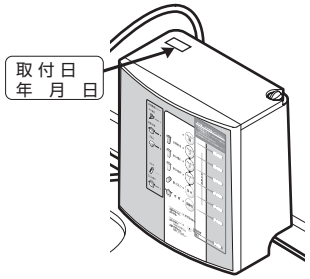
※準備運転中に接続した各部からの水漏れがないか確認してください。

2 吐水パイプから水が出始め、"ピーピーピー"音が止まったら、水を止める。

～準備運転完了～

3 取付日を記入したラベルを貼る。

日付ラベルに取付年月日を記入し、見やすい場所に貼ってください。取付日を確認するときに便利です。



〈例：上面への貼付〉

お知らせ
- ●本体故障の原因となりますので、35℃を超える温水は流さないでください。
- ●電源投入時と加熱洗浄後に初めて水を出す場合は、自動的に準備運転になります。

⚠注意
- ●準備運転中の水は飲用しないでください。

2 加熱洗浄時刻を設定する

加熱洗浄時刻の設定および確認は表面の
4-1-2～4-2を参照してください。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。